

指標の検討について

- 立川市内で策定する他の計画では、交通に関する指標を以下のとおり掲載しています。

計画名	項目	目標値	設定年	
立川市第5次長期総合計画 前期基本計画	交通事故発生件数	403 件	R11 年度	
	シェアサイクル年間総利用回数	277,000 回		
	地域公共交通の利用者数（路線バス等）	43,699 人/日		
	公園整備	2 公園		
	⋮	⋮		
立川市緑の基本計画	市が設置・管理する都市公園等面積	64.2ha	R6 年度	
立川市無電柱化推進計画	令和11（2029）年度までに事業着手を目指す路線		R11 年度	
	①立川市道1級1号線（主地道16号～市道南375号）	360m		
	②立川3・2・10号線（市道1級8号～立川3・3・30）	150m		
	⋮	⋮		
	<優先整備予定路線>			
	立川市道1級1号線	360m		
	立川市道1級7号線	240m		
	立川市道1級8号線	560m		
	⋮	⋮		
	第2次自転車活用推進計画	自転車走行環境の整備距離		37.4km
	ヘルメット着用率	27.0%		
	自転車事故件数	290 件		
	放置自転車台数	40 台		
	シェアサイクルステーションの設置数	100 箇所		
	シェアサイクル年間総利用回数	277,000 回		
	自転車利用率	24.0%		
立川市第3次総合戦略	交通事故発生件数	403 件	R11 年度	
	シェアサイクル年間総利用回数	277,000 回		
	地域公共交通の利用者数（路線バス等）	43,699 人/日		

※項目及び指標については一部抜粋

- ・ 第12次立川市交通安全計画では、他計画で示される交通安全にかかわる数値指標を集約し、目標の達成に向け指標の進捗状況を確認していきます。
- ・ 第11次立川市交通安全計画を基にした数値指標の掲載例は以下のとおりです。

第11次立川市交通安全計画 p.37

(3) 自転車利用環境の総合的整備 ※該当箇所を一部抜粋

自転車は身近な乗り物として通勤、通学、買い物などの日常生活に利用され、環境にやさしい交通手段の一つとして見直されるとともに、東日本大震災や新型コロナウイルス感染症などの影響により、近年利用者が増加していると言われていています。さらに、新型コロナウイルス感染症の感染拡大により、自転車を活用した配達サービス等の需要が高まっています。近年、自転車が関与する事故の割合は増えており、早急な対応が求められています。

こうした背景を踏まえて、令和2年度に策定した「立川市自転車活用推進計画（令和2年12月）」を推進するとともに、警察庁が定めた良好な自転車交通秩序の実現のための総合対策の推進に併せ、自転車が通行すべき部分と進行すべき方向を路面に表示するために自転車ナビマーク・自転車ナビラインを整備します。

また、既存の広幅員歩道上に走行区分がある路線については、自転車と歩行者の錯綜が見られることから、より認識しやすい表示などを検討し、歩行者が安心して利用できる歩道環境の整備を進めます。

	令和8年	令和9年	令和10年	令和11年	令和12年	令和13年
自転車走行環境の累計整備距離 ※R6時点	26.4 km	29.15 km	31.9 km	34.65 km	37.4 km	-

※令和12年度目標の37.4 kmについては、「第2次自転車活用推進計画」を基に掲載。令和13年以降については、策定予定の「第2次自転車活用推進計画」等を基に設定。

第11次立川市交通安全計画 p.38

(4) その他 ※該当箇所を一部抜粋

イ 公園・遊び場整備

公園・遊び場などは、児童、幼児などの遊戯の場、人と人のふれあいの場、まちの緑の中心などとして重要な役割を担い、まちにうるおいをもたらすものです。

また、交通路と遊び場を分離するため、道路上で遊ばないことにより交通安全にも寄与しています。今後も「立川市緑の基本計画」に基づき公園等の整備に努めます。

	令和8年	令和9年	令和10年	令和11年	令和12年	令和13年
公園 累計整備数	整備数0 (新設0)	整備数1 (新設1)	整備数1 (新設0)	整備数2 (新設1)	-	-

※令和11年度目標の新設2公園については、「立川市第5次長期総合計画 前期基本計画」を基に掲載。令和12年以降については、策定予定の「立川市第5次長期総合計画 後期基本計画」を基に設定。

